

事業概要説明書 [1]		事業番号	2-4																															
事務事業名	きよたけ歴史館管理運営事業	担当部名	教育委員会																															
事業開始年度	平成 21 年度	担当課名	文化財課																															
実施方法	直営	担当係	文化財管理係																															
根拠法令等	宮崎市歴史資料館条例																																	
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため設けられた宮崎市きよたけ歴史館を、適切で効率的に運営し、市民の各種ニーズに対応する。																																
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>歴史資料館、埋蔵文化財センター、茶室「香梅庵」をそれぞれの特性に合わせ、適切に管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆歴史資料館 企画展等を開催し、安井息軒を中心とした、主に旧清武町内の歴史や文化財を市民に紹介する。また、歴史学習、自然体験等の活動を通して、市民の歴史や文化財に対する意識の向上を図る。 ◆埋蔵文化財センター 旧清武町内での発掘調査による出土遺物の整理作業を行う。 ◆茶室「香梅庵」 隣接する安井息軒旧宅も活用したイベント等の開催により伝統文化を紹介し、利用促進を図る。 																																
	事業の必要性	安井息軒を中心に、旧清武町を主とした市内の文化遺産（歴史・考古・民俗）を展示や講座等を通して広く市民に紹介しており、地域文化の向上に果たす役割は大きい。																																
コスト		平成23年度(予算)	人件費																															
	直接事業費 (A)	8,870 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																													
	人件費 (B)	11,350 千円	正規職員	3,750 千円	0.5 人																													
	総事業費 (A+B)	20,220 千円	嘱託員	7,600 千円	4 人																													
平成23年度 直接事業費内訳	<table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>25千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>3,715千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>335千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>4,433千円</td> <td>(清掃、警備、自家用電気工作物保安業務、エレベーター保守点検、浄化槽維持管理等)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料賃借料</td> <td>357千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>5千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				報償費	25千円				需用費	3,715千円				役務費	335千円				委託料	4,433千円	(清掃、警備、自家用電気工作物保安業務、エレベーター保守点検、浄化槽維持管理等)			使用料賃借料	357千円				負担金	5千円			
報償費	25千円																																	
需用費	3,715千円																																	
役務費	335千円																																	
委託料	4,433千円	(清掃、警備、自家用電気工作物保安業務、エレベーター保守点検、浄化槽維持管理等)																																
使用料賃借料	357千円																																	
負担金	5千円																																	

事業概要説明書 [2]			事業番号	2 - 4	
年度		平成22年度(決算)	平成23年度(予算)		
直接事業費		7,779 千円	8,870 千円		
財源	一般財源	7,753 千円	8,755 千円		
	受益者負担金	26 千円	115 千円		
	その他	0 千円	0 千円		
成果目標 〔 どのような状態 を目指すのか 〕	歴史的・文化的資料を調査・研究し、適切に公開啓発することで、市民の文化財や歴史についての理解が深まる。				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ていない			
	[説明]	合併により管理することとなった初年度は、口蹄疫の影響で閉館した期間があり、目標に達しなかった。			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名 (下段: 指標の説明)	単位	数値 (上段: 目標 / 下段: 実績)		
			平成21年度	平成22年度	平成23年度
	入館者数	人	—	12,000	12,000
			10,567	8,941	
主催講座受講者数	人	—	600	720	
		555	236		
事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	施設の設置目的に沿った施設の管理運営に努め、積極的な施設のPR活動を進めながら、大小の企画展や魅力あるイベントの開催、新規事業の開発等の利用者を増やす取り組みを行っていく。				
特記事項 〔 参考情報等 〕					

きよたけ歴史館管理運営事業【文化財課】

1. 施設概要

平成14年9月23日に、郷土の偉人である安井息軒に関する資料の調査・研究や展示、宮崎平野の南部に位置する旧清武郷の歴史・文化の紹介を行う施設としてオープンしました。1階には、旧清武町域で発見された考古資料の整理・研究を行う埋蔵文化財センターを併設しています。

所在地	宮崎市清武町加納甲3378-1
建物延床面積	1,131㎡
建物構造	鉄筋コンクリート2階建
施設	2階：安井息軒展示室、考古展示室、図書資料室、研修室、展望室、事務室 1階：研究室、整理作業室、写場、特別収蔵庫、収蔵庫、警備室 ※併設施設として、安井息軒旧宅・香梅庵
開館時間	午前9時00分から午後4時30分まで
休館日	月曜日、祝日の翌日(但し、土・日曜日、休日にあたる日を除く)、年末年始
入館料	無料

2. 平成22年度事業概要

①展示事業

I 常設展示

・安井息軒展示室

幕末から明治初期にかけて活躍した清武出身の儒学者 安井息軒の生涯と業績を直筆の書籍や遺品等の資料を交えて紹介しています。

・考古展示室

清武町域内の発掘調査で出土した土器や石器等を展示し、パネル説明や映像、模型を交えて当時の生活を紹介しています。

II 企画展示

展示名	開催時期	入館者	年度合計
ミニ展示 「作家二人展 彫刻家 長田満也&画家 坂本正直」	4/29～5/30	714人	5,640人
ミニ展示 「息軒の志を受け継ぐ～子どもたちの文化交流の歩み」	7/27～8/22	535人	
ミニ展示 「古墳時代の清武 空白をうめる新たな物証～五反畑遺跡 B 地区発掘調査から」	9/18～10/17	682人	
企画展 「安井息軒2011」	1/29～3/20	3,709人	

②歴史文化振興 教育普及事業

- ・歴史講座（合併特例区と共催）

回	演題	期日	受講者数	年度合計
1	息軒と教育文化	5月22日	43人	371人
2	平部嶺南①	6月19日	口蹄疫による中止	
3	平部嶺南②	7月3日	口蹄疫による中止	
4	伊東祐相	7月24日	口蹄疫による中止	
5	清武・飢肥に残る息軒の足跡	8月21日	45人	
6	現地見学 滄州・息軒ゆかりの地	9月11日	41人	
7	佐代夫人	10月2日	34人	
8	須磨子への書簡	10月23日	35人	
9	安井朴堂の生涯	11月20日	30人	
10	江戸に残る息軒の足跡	12月11日	36人	
11	息軒と領家村	1月15日	32人	
12	北有馬太郎の書簡	2月19日	75人	

- ・古代生活体験講座「ハロー！原始の清武」

回	講座名	期日	受講者数	年度合計
1	宮崎県総合博物館見学	5月22日	12人	137人
2	縄文ポシェットづくり	6月26日	口蹄疫による中止	
3	土笛づくり	8月21日	18人	
4	滑石まが玉づくり	10月9日	31人	
5	原始染め	12月4日	37人	
6	アングインづくり	1月8日	39人	

③その他イベント事業

- ・文化探訪バスツアーin 清武

回	コース	期日	参加者数	年度合計
1	中野・松井用水コース	2月5日	24人	47人
2	船引・黒北コース	3月5日	23人	

3. 来館状況

年度別入館者数

年度	入館者数
平成14年度	7,315人
平成15年度	9,381人
平成16年度	9,816人
平成17年度	9,930人
平成18年度	10,284人
平成19年度	10,520人
平成20年度	11,111人
平成21年度	10,567人
平成22年度	8,941人
計	87,865人